

第1回水戸市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 附属機関の会議の名称
第1回水戸市スポーツ推進審議会
- 2 開催日時
令和5年8月23日（水） 午前10時00分から12時00分まで
- 3 開催場所
水戸市役所本庁舎2階 大会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
江戸 寿, 岡野 優二, 小沼 惣一, 日下 裕弘, 薮 喜代子, 砂田 和広,
立石 将太郎, 千ヶ崎 高志, 宮田 正子
 - (2) 執行機関
田尻 充, 小嶋 いつみ, 柏 直樹, 田沢 春彦, 大高 暁, 加藤木 宏志,
安嶋 航平
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 水戸市スポーツ推進計画（第2次）策定基本方針について（公開）
 - (2) 水戸市スポーツ推進計画の取組について（公開）
- 6 非公開の理由
なし
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。）
なし
- 8 会議資料の名称
 - （資料1）水戸市スポーツ推進審議会名簿
 - （資料2）水戸市スポーツ推進計画（第2次）策定基本方針 資料①
 - （資料3）水戸市スポーツ推進計画の取組 資料②
 - （資料4）水戸市スポーツ推進計画（第2次）構成案 資料③
 - （参考資料）水戸市スポーツ推進審議会条例
- 9 発言の内容

【執行機関】本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいまから、令和5年度第1回水戸市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。それではまず、田尻副市長から挨拶を申し上げます。

(副市長挨拶)

【執行機関】続きまして、委嘱状の交付を行います。代表して、____委員に委嘱状のお受け取りをお願いいたします。

(委嘱状交付)

【執行機関】他の委員の皆様には、大変恐縮ではございますが、お手元に委嘱状を置かせていただきましたので、それをもちまして委嘱状の交付とさせていただきます。

【執行機関】次に、本日の出席者数を報告させていただきます。本日の審議会には、委員数13名中、9名が出席されております。委員の過半数以上の出席がございますので、水戸市スポーツ推進審議会条例第6条第2項に基づき、本日の審議会は成立していることを申し上げます。

また、審議会につきましては、水戸市附属機関の会議の公開に関する規程第3条に基づきまして、原則公開とさせていただいております。

なお、本日の傍聴者はございません。

【執行機関】続きまして、大変恐縮ではございますが、各委員の皆様には自己紹介をお願いいたします。

(委員自己紹介)

【執行機関】なお、____委員、____委員、____委員、____委員につきましては、本日所用により欠席でございます。

【執行機関】次に、事務局を紹介させていただきます。

(事務局紹介)

【執行機関】それでは次に、正副会長の選出を行わせていただきます。選出に当たりましては、水戸市スポーツ推進審議会条例第5条第1項において、委員の互選となっておりますが、いかがいたしましょうか。

(事務局案の声あり)

【執行機関】ただいま事務局案との御発言がありましたので、事務局の方で案をあげさせていただきます。

会長につきましては、____委員に、副会長につきましては____委員にお願いしたいと考えております。委員の皆様、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

【執行機関】 それでは、異議なしとのことですので、____委員に会長を、____委員に副会長をお願いしたいと思います。

【執行機関】 それでは、改めまして____会長、____副会長に、御挨拶をいただきたいと思います。
はじめに、____会長、お願いいたします。
(会長挨拶)

【執行機関】 続いて____副会長、よろしくをお願いいたします。
(副会長挨拶)

【執行機関】 続きまして、田尻副市長から水戸市スポーツ推進審議会に対し諮問事項がございますので、恐縮ではございますが、____会長には御起立いただきまして、代表して諮問書をお受け取りいただきたいと思います。
(諮問)

【執行機関】 田尻副市長、小嶋部長、柏副部長におかれましては、次の公務がありますので、ここで退席とさせていただきます。
(副市長、部長、副部長退席)

【執行機関】 また、恐れ入りますが、____会長、____副会長は、お席の移動をお願いいたします。
(会長は会長席、副会長は副会長席に着く)

【執行機関】 続きまして、配布しております資料の確認をさせていただきます。次第、委員名簿、水戸市スポーツ推進審議会条例、委嘱状、諮問書の写し、資料①水戸市スポーツ推進計画（第2次）策定基本方針、資料②水戸市スポーツ推進計画の取組、資料③水戸市スポーツ推進計画（第2次）構成案、以上8点でございます。資料の不足等はございますか。
(不足等なし)

【執行機関】 特にないようであれば、議題に入らせていただきたいと思います。
これからの進行につきましては、水戸市スポーツ推進審議会条例第6条第1項に基づき、____会長に議長をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

【会 長】 委員の皆様よろしくをお願いいたします。まず議事に入る前に、水戸市附属機関の会議の公開に関する規程に基づき、会議録の公開が必要となりますので、会議録署名人を指名させていただきます。____委員、____委員よろしくをお願いいたします。

【会 長】 それでは、資料に基づき、議事を進めてまいります。まず、議題の1つめであります、「水戸市スポーツ推進計画（第2次）策定基本方針」について、事務局から説明をお願いいたします。
(事務局説明)

【会 長】ただいまの事務局説明について、御質問や御意見がございましたら、御発言をお願いいたします。

(委員から質問等なし)

【会 長】4ページの表にあるとおり、水戸市スポーツ推進計画（第2次）を策定していくこととなります。策定のスケジュール案を見ますと、4回の会議を行うということですが、次回の会議はいつ頃を予定していますか。

【執行機関】他の個別計画等での標準的なスケジュールにならない、現時点で次回の会議は10月下旬頃を予定しております。しかし、会議が平日昼間の開催となり、皆様にお集まりいただくことも難しいことから、個別に皆様からヒアリングさせていただくことも考えております。それらや計画案の策定の進捗によっては、全体での会議の回数も調整させていただくことを考えております。加えて、今行っている市民アンケートの調査のとりまとめ状況を踏まえながら、次回の会議の時期を考えていきたいと思っております。

【会 長】アンケートはすでに実施しているのですか。

【執行機関】ただいま実施中でございます。

【会 長】わかりました。市民アンケートも参考にしながら策定を進めていければいいですね。

さて、次回の会議は、10月下旬からそれ以降に計画しているということです。

何か他に御意見や御質問はありますか。

(質問等なし)

【会 長】それでは次に、2つ目の議題であります「水戸市スポーツ推進計画の取組について」事務局から説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【会 長】説明を中断させてしまい申し訳ございませんが、基本方針1と基本方針2のところの中身が豊富なので、ここで一度皆様に意見を伺いたしたいと思います。子どもたちのスポーツ、成人のスポーツ、高齢者及び障害者のスポーツの3つに分けて伺っていきます。

それではまず、子どもたちのスポーツについて御意見、御質問はありますか。

【___委員】伝統スポーツとして、水戸市には水府流という古式泳法があると思いますが、小学校のプールの授業の中で教えることはあるのですか。

【執行機関】限られた学校になりますが、城東小学校などでは授業の一環として指導者に教育していただいております。

【___委員】 教えているのは限られた学校とのことで、今後これから、小学校のプールを使用せずにスポーツ施設のプールを使用して授業をしていくとも聞いています。そうすると、伝統スポーツを教える機会が少なくなってしまうのではないかと心配しています。

【会 長】 伝統の継承は重要なことですね。水戸市としては、大切にしたいということですから、これからどうするのか施策と関連してくるところですね。

その他、御意見はございますか。

【___委員】 外部指導者についてございます。現在、外部指導者は学校で見つけていますが、なかなか見つからないのが現状です。市でデータベース等を作成し、その情報をホームページ等に掲載したりはしていますか。

【執行機関】 そうした登録バンク制度は、県で取りまとめて行っており、そこに登録された指導者を要望があったところに派遣するという認識でございます。ただし、指導者として望ましいような体力も技術もある人となると、働き盛りで日中は忙しい人が多くなると思われますので、期待するような指導者が派遣されているかと言いますと、なかなか難しい現状があると思います。

【会 長】 おそらくどこの市町村でも同じ問題を抱えていると思いますね。字面だけを見て条件がマッチングしても、要望どおりの指導者であるのかというのは、実際問題やってみないとわからないところがあると思います。ただ、市としては、登録バンク制度があるのですから、その情報は積極的に発信していくことが大事だと思います。こうしたことも踏まえながら計画の策定を進めていきたいですね。

【___委員】 もう一点よろしいでしょうか。スポーツ少年団についてです。現在、中学校では、部活動の地域移行に向けて動き出しております。そうした際に、地域にしっかりと受け皿があるのかという話が出てきますが、スポーツ少年団で中学生の面倒を見ていただける条件などがあるのでしょうか。また、そういったことは検討できるものなのでしょうか。

【会 長】 国では、スポーツ少年団の年齢の幅を少し広げて欲しいと言っているようですが、___委員いかがでしょうか。

【___委員】 種目によって受け入れが可能な団もあれば、難しい団もあると思います。球技であれば準備物もそれほど多くないので、練習のスペースを上手く使うことによって、中学生の活動の場も広がっていくと思います。あとは競技性の問題もあると思います。私が教えている体操などは、小学生レベルの練習内容と中学生レベルの練習内容は種目も変わり、器具の準備なども関わってくるので、クラブである程度器具がそろっているところであれば、中学生の受け入れも可能だとは思いますが数に限られてくると思います。

ジュニアの人口は多いが、それを受け入れる中学校がないため、そこで競技人口が減ってしまうということもあります。

種目を考えていけば、中学生を受け入れられるというところはあるとは思いますが。ただ指導者でも例えば中学校の陸上の指導では、陸協との関わりもあるので、それを少年団でやるのは難しいと思います。また、少年団の指導者は、土曜日とか日曜日の時間を、自分の生活の中から作りだして、その時間に合わせて指導に来てくださる方も多いので、そこを中学生の練習時間に充てていくとなると、これは非常に困難な気がします。

【会長】子どものスポーツは難しく、遊び半分でも本気になってしまい、競技スポーツ的なスポーツに変質するということもありますよね。国の第3期基本計画の考え方の中には、スポーツ少年団の幅を少し広げて欲しいという考え方も出てきているので、実際にできるかどうかは別として、そのあたりもこの計画の中で方向性を出してもいいかもしれませんね。その他ございませんか。

(質問等なし)

【会長】その他、芝生の整備も大切ですよ。ただ芝生を管理するのは容易ではないですよ。私が住んでいる近くの大きな公園の芝生は、公園緑地課の協力で管理しているんです。そうすると草刈りは必要になりますが、土よりは草でもいいですね。やっぱり親子で遊ぶにしても緑のところ遊ぶのは気持ちがいいですよ。その辺のことも市民にわかるような形で計画の中身に入れていきたいですね。

それでは次に、一般成人の方のレクリエーションスポーツ・健康スポーツについては資料に記載されていることだけで十分でしょうか。御意見ありますでしょうか。

(意見等なし)

【会長】なかなか、一般成人となりますと仕事や家庭もあり時間がないですよ。一般的には、お母さんが子どもを連れて一緒に遊べたり、子どもを預ける場所があったりするといった考え方ですね。また、男性の中にはとてもテニスが好きでたまらないという人がいて、いくら仕事が忙しくてもテニスをするという方が稀にいますが、逆にそういった方以外は運動しないんですよ。そういったところが、生涯スポーツの穴だと思うんですよ。それをどうするのかというのが問題で、スポーツイベントにおいて、家族でも運動ができたり、近くで運動ができたりするというような工夫が、一般成人のスポーツの場合には必要だと思いますね。

スポーツ推進委員の方々いかがでしょうか。

【委員】双葉台地区では、去年から市民運動会の代わりにスポーツフェスタという名称でイベントを開催していて、メインのスポーツとして子どもから高齢者までできるグランドゴルフを採用しています。通常グランドゴルフは、1つのボールをひとりで打つんですけど、このイベントでは、時間の関係もあって1つのボールを2人とか3人で打つことにしたんですけども、結構好評でした。今年は、もう少し1グループの人数を増やして行うことを予定しています。

【会長】高齢者のスポーツになってしまいますが、グランドゴルフは、今いろいろな市町村で行われていて人気ですよ。双葉台の公園でもやっているのをよく見かけます。

続いて高齢者の問題になりますが、皆様いかがでしょうか。障害者のスポーツも含めていか

がでしょうか。

【___委員】私は、西部地区の各市民センターで体操教室をやっていますが、双葉台が一番参加者が多く、一つの教室で30人から40人くらいいらっしゃいます。おそらく双葉台地区ができて40年くらいが立つと思いますが、その時代の方が高齢者になって、場所も歩いて行ける所ということで、多くの参加者が集まるのだと思います。他の地区ですと、市民センターに徒歩で行くということがあまりできないので、参加者が減っていて、かつ男の人の参加が少ないのが現状ですね。どこの会場でもそうですが、30人中2人くらいしかいません。指導者も同様で、一割くらいしか男性がいません。うまくPRをして男性の参加をいかに促すことができるのか、そういったところが問題のように感じますね。

【会 長】私の妻もリハビリ体操の指導者をやっております、中には介護が必要になってしまった方もいるんですけど、そうした方が少しよくなって顔を出してくれて、またやりたいと言ってくれるとすごくやりがいがあると言っていました。

【___委員】介護予防の目的でやっていますけども、最近のリハビリという形で参加される方もいますね。

【会 長】私は心臓が悪いのですが、高齢者はどこかしら悪いところがあります。医者には黙って毎日テニスをやっていますが、医者の薬よりも運動の方がいいですね。調子がいいです。体を動かすということがとても体にいいなと高齢者になって改めて思います。

【___委員】私もシルバーリハビリ体操の指導者をやっていますが、無理な体操ではなく、痛い人はやらなくて大丈夫ですよというように、その人に合わせたやり方でできるので、参加される方もだんだん増えてきています。なので、参加していただければいい体操になると思いますね。

【会 長】参加してもらおうというのが大事ですよ。

【___委員】おっしゃる通りです。体操ができなくてもそこでお話しをしたり、顔を合わせたりすることが大事だと思います。

【会 長】今日は関係者の方がいらっしゃいませんが、総合型地域スポーツクラブも高齢者が多いと思いますが、スポーツをするだけではなく、そこにみんなが集まるということが意外と大きな意味になっていて、楽しみになって、生きがいになっていくと思いますね。

【___委員】毎回教室に参加してくださる方は、指導者に向かって「そこ何か抜かしましたよ」と言ってくれるくらい頭まで冴えてくるような感じですね。

【___委員】時間になりましたので申し訳ございませんが、ここで退席いたします。

(都合により____委員退席)

【会 長】その他、高齢者のスポーツで何か御意見がある方はいらっしゃいますか。

【____委員】先日内原イオンに行った際に、帽子を被って歩いていらっしゃる方がたくさんいました。空調も効いて涼しいですから、外の運動を避けて歩いているようです。広いエリアを何周もしている人がどのフロアにもいて、こんなにも歩いていらっしゃる方がいるのかと思いました。高齢者の男性はコミュニティを避ける傾向が強いのではないかと考えています。社会教育の分野でも教室を開くと圧倒的に女性の参加が多く、男性になかなか参加していただけません。その代わりに、個別にスポーツジムなど何かに参加している人はいると思います。そこへの補助であったり、支援だったりをしてあげられるかということも一つの視点になると思います。内原イオンではウォーキングするとポイントがもらえる仕組みがあって、それを貯めている人がいます。運動は、受益者の負担で個人のために行うものだと思いますが、広く市民に運動させようとするときにはそういう支援があると運動するきっかけになるのではないかと考えています。これからはスマートフォンを皆さん持っている時代なので、そういったサービス提供などで何かできるのではないかと考えています。

合わせて推進計画を見ながら思いましたが、スポーツイベントを開催したり、スポーツ推進に努めたり、見直しを図ったりするのがすべて市民協働部というわけではないと思います。福祉部がやるべきこともいっぱいあると思いましたし、教育委員会の管轄の部分もあると思います。計画には何をするのかと同時に、実施する団体や担当課など、誰がやるのかということもはっきりと明記していかないといけないと思います。

【会 長】健康スポーツとなると、どうしてもオーバーラップする部分が多く出てくると思いますが、協同という形で実施主体がオーバーラップしてもいいのですか。つまり、保健の方の計画にも、スポーツの計画の方にも同じ実施主体が入ってしまってもいいですね。

【執行機関】はい、問題ありません。

【会 長】それと先ほどの話で、確かに男性はどちらかという人と交わるのがあまり好きではないという傾向がありますね。ただコロナの関係で、一人で運動するという習慣はここ3年で増えたのではないかと考えていますね。ウォーキングをする人は増えたと思います。うまくその人たちを逃さないということもこれからのスポーツ振興には大事だと思います。コロナの間は、ウォーキングぐらいしかすることもなかったもので、おそらくアンケート調査でもウォーキングしたという方は増えているのではないかと考えています。

歩き方も色々ありますので、ただ歩けと促すのではなく、歩かせる仕掛けも大切だと思います。

【____委員】子どものスポーツの話に戻ってしまいますが、今どこの地区でも子ども会が少なくなってしまうと思います。その関係で、ドッジボール大会などの催しも無くなってきてしまっています。そうすると大人と子どもが交わる機会がなくなってしまうということで、住民の会の

中では、そのような催しを子ども会から引き継いで開催しようという話が出てきています。飯富地区では、バドミントン教室を去年から始めて、去年15人くらいだったのが今年は30人くらいに増えて楽しくやっています。やはり子どもだけでは催しはできないので大人が関わってあげないとはいけませんね。

【会 長】そうですね。子どもだけではできないので、大人が関わってあげてそういった場を提供していくというのは大人の責任だと思いますね。

【___委員】加えて子ども会がなくなったというのは、ただ子どもの人数が少なくなったということだけでなく、大人が役員をやらなければならないので、そういった問題もありますね。

【会 長】安全・安心に子どもが運動をするには、大人の関わりが必要で、地区会がしっかりと見守りをしていただければ自由に遊ぶということもできると思います。そういった意味では、住みよいまちづくり推進協議会という団体もありますので、そういった団体とのタイアップというのもこの計画の中に入れるべきだと思いますね。

それではですね、基本方針3の競技スポーツの振興以降について事務局から説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【会 長】ありがとうございました。時間もございませんので、資料③の説明も続けてお願いいたします。

(事務局説明)

【会 長】③の資料については、実際にこれから事務局の方で計画のたたき台を作っていく上での柱になってくる構成案の説明で、その中には現計画には無かった新しいものも入ってきますという説明でした。もちろん今日皆様からいただいた意見についても当然にこの中身に入れていただき、ぜひ膨らませて中身を豊かにして計画を作っていただければと思います。皆様も引き続き御意見をお願いいたします。

さて先ほどの事務局での説明では、競技スポーツ、スポーツ施設・環境の充実、スポーツ指導者・ボランティアそれからスポーツ組織の体制強化、そして新しく茨城ロボッツの名前も出てきました。ではここまでのところで何か皆様の御意見や御質問があればよろしく願いいたします。

【___委員】競技スポーツの向上の部分で大会参加への補助金や参加支援の充実ということが謳われており、こちらも継続して進めていただきたいと思います。多くの人を集めることも大事だと思います。つまり市が主催するスポーツ大会などの事業も計画にしっかりと明記していくべきだと思います。今もスポーツ振興協会などが主催する大会があります。野球などは毎週のように大会があって充実しています。この前街中を歩いていた際に、南町のホテルの前にバスが止まっていて、運動着を着た子どもたちが20人から30人位いました。おそらく大会に参加するために県外の子どもたちが泊まっていたのだと思います。そういう事業が水戸で行われ

るといことは、かなりのお金が市内に落ちていると思いました。泊まっていますし、食べにも行っていますし、お弁当や氷も買うでしょうから色々なお金が市内で使われていると思います。子どもたちなら親も一緒に動きますから、その大会を主催するお金以上に使われていると思います。市が大会を主催することは、スポーツマネジメント的な意味で大きなメリットになっています。スポーツ活動の意味合いとか健康づくりとかを計画の中で謳っていますが、スポーツはプロスポーツもそうであるように経済活動の一つでもあるので、子どもたちの大会であっても市が大会を開催すると、経済的な効果は大きいと思います。大会を主催することは、水戸市の経済活性化に役立っているということを市民の方にわかってもらわないとスポーツ事業が萎んでしまうと思います。

加えて成人のスポーツでは、フェスティバルを開催し盛り上げるということを計画しているようですが、先ほど話したように成人のスポーツは支援する対象を広げるような取組をさせていただければと思っています。最近ではジムなどのスポーツクラブに入っている方も多くいますが、個人で運動をしているから特にその方たちに支援しなくていいというわけではないでしょう。高齢者でいえば介護施設に通っている方は、施設に行って運動されていますからそういう部分への支援をどうするのかということを考えなければいけないと思います。そのような個人での活動は市民のスポーツ推進の上で推奨すべき内容だと思いますので、スポーツクラブや施設へ支援するのか、そこに参加している市民へ直接支援をするのかを考えていく必要があると思います。

【会 長】今のお話しにもあったように、スポーツ大会の開催やコンベンション的な意味を持った経済活動も含めた大会の開催についても、計画の中身に入るように原案の中にも入れていただければと思います。

【執行機関】それにつきましては、資料②の5ページのところに目標指標を掲げておりますとおり、現計画の中でも含めているところです。しかし、先ほど____委員からもありましたように、昨年度16の全国大会を開催及び誘致していることや、その効果が十分に伝わっていないというところもあると思いましたので、水戸市ではこのような大会を開催・誘致しているということを市民の方々に知ってもらえるよう、次期計画には盛り込んでいきたいと思っています。

【会 長】水戸市では広報紙として「広報みと」があると思いますが、これは各世帯に配布されますので広報活動としてはとても有意義だと思いますね。その中にコンベンション関係の記事を掲載してもいいかもしれませんね。

【執行機関】そういったことも広報担当課と相談して、検討してまいりたいと思います。

【会 長】お願いいたします。その他に御意見がある方はいらっしゃいますか。

【____委員】2点ございます。1点目は成人のスポーツへの参加というところになりますが、例えば千波湖の緑地なんかを見ますと休日は結構な親子が球技などをして遊んでいるんですね。なので、成人をスポーツ参加させるという部分については、どうにか親子で行う遊びから広が

りが見られないのかなと思います。千波湖に来てウォーキングやジョギングばかりするのではなく、緑地に自由に使えるものが用意されていて、パッと来ても親子で楽しめて、そこで色々なスポーツへの関わりが持てるというような工夫が必要なのではないかと思います。

2点目は、茨城ロボッツとの関わりについてです。私は何度か試合を観戦しに行ったのですが、すごい盛り上がりですよね。ただ、せっかくそういう試合をしても、バスケ関係者だけで終わってしまっているのがもったいないなと思います。イベントの中でバスケに関わる子を広げたり、運動に興味をもつ子を広げたりというような取組を市として行うことが大切だと思います。水戸ホーリーホックは以前からあって色々な学校で挨拶運動などをしたりして様々な関わりを持っていますので、茨城ロボッツともそのような関わりを広げていくといいと思いますね。

【___委員】今の御意見に補足を加えさせていただきます。現在、茨城ロボッツでは、水戸市と事業受託という形で、幼稚園や小学校などへの巡回事業をさせていただいておまして、バスケットボールに触れたことがない子どもたちにバスケットボールに触れてもらうというような教室を年間50回という契約で請け負っております。加えて、随時にはなるのですが、水戸市スポーツ振興協会と連携して、初めてバスケットボールクラスという教室を年間4ターム行っております。また、スポーツ推進計画（第2次）の構成案の方にも書かれているのですが、水戸市と水戸ホーリーホックと一緒にMITO BLUE PRIDEという3者の連携事業を行っております。今後は小学校の給食の時間に学校にお邪魔することも予定しております。我々としては競技人口を増やしていくためにも、またユースチームの子どもたちのレベルをトップに上がれるような競技レベルまで向上させるためにも、子どもたちの興味関心を高めていくことが重要だと思っております。おそらくこれについては水戸ホーリーホックも同じ考えを持っていると思います。なので、我々としても子どもに関する事業をより強化していくべきだと思っております。

【会 長】やはり、子どもたちにプロの技を覚えてもらう機会をいただけることは、市民としてもありがたいと思います。そういう機会があればチームを応援しようという気持ちにもなりますよね。私の友人でもバスケットボールの試合観戦をした人がいて、話を聞いたのですがすごい盛り上がりだと言っていました。

【___委員】子どもたちからお年寄りまで幅広い年齢層の方々にお越しいただいておりますので、ぜひ委員の皆様にも来ていただきたいと思います。

水戸ホーリーホックも同じように思っていると思うのですが、我々プロスポーツチームが与えられるのは、誇りと活力だということで、その誇りと活力を得た子どもたちが夢に向かって頑張っていけるような、そんなストーリーを作れたらいいなと思っております。

また、我々としては子どもたちへの支援は持続可能でなければいけないと思っておりますので、やはりそこに対しての市からの補助金など、事業化をするにあたっては市と連携を図っていきたいと思っております。

今週の金曜日からはワールドカップも開催されるので、そういったところでも市民のスポーツの意識の向上に役立てればいいのかと思います。

【会長】ありがとうございます。それから先ほど、緑地があるとそこで親子でスポーツに限らず色々な遊びができるという話がありましたけども、その数は表れてこないのですよね。ですけども、私はその数が大事だと思うんですよ。数が表れるものも大事ですけども、そういう数に表れてこないような健康スポーツのあり方も大事だと思いますね。

その他に何かありますか。

(質問等なし)

【会長】それでは私からよろしいでしょうか。スポーツボランティアというのはなかなか集めることが難しく苦労されていると思いますが、実際どれくらいの数の方が活躍されているのですか。

【執行機関】先ほどの説明で少し触れさせていただきましたが、やはり何かをきっかけに一度ボランティアに参加をして、そこで皆さんから感謝されたり、やってみると意外と楽しかったりということでボランティアに参加される方が多いです。水戸市スポーツ振興協会では、何かイベントを開催する時に事前登録いただいた方にボランティアをお願いするという、魁サポーターズという登録制のボランティアを募集しています。ここ最近では、コロナの影響でイベント自体が開催できず、ボランティアをお願いすることもできなかったので、登録を解除される方もおり、登録者数が減っているということもありますけども、やはり登録している人のほとんどは、ボランティアを生きがいとしている方々ばかりです。

【会長】せっかくボランティアに参加いただいているので、なるべく駐車場の整備などではなく、イベントの中身を見て感動していただけるよう役割をお願いするような部分で、ボランティアへの配慮もお願いしたいですね。

加えて水戸市では、水戸市スポーツ振興協会が、実際に健康作り教室などたくさんの教室を開催しています。計画の組織づくりの部分では、協会がどのような事業をしていて、その課題は何であるのかということが重要になってくると思いますので、事務局の方で協会へのヒアリングをお願いしたいと思います。

その他皆様から何かありますか。

(意見等なし)

【会長】今後も気楽に意見を述べられるような会議にしていきたいと思いますので、皆様には今後とも忌憚のない意見をお願いしたいと思います。

最後になりますが、第2回の会議の資料については、事前に皆様に郵送させていただくと思います。皆様には事前にチェックしていただいた上で、会議の場に意見を持ち込んでいただければと思います。事務局の方で対応をお願いします。

【執行機関】会長からの御提案のとおり、次回以降については、事前に資料を郵送させていただきます。当日は、それに関して御意見をいただけるような形にいたしますので、引き続きの御協力をお願いいたします。

【会長】 その方がいいですね。今日みたいにこれだけ中身がありますと事務局も大変ですが、聞いている委員の皆様も大変ですので、事前に資料を郵送していただけると助かります。それでは、以上で司会を事務局にお返しいたします。

【執行機関】 大変貴重な御意見や御提案をいただきありがとうございました。本日頂きました御意見等を踏まえ、今後とも水戸市スポーツ行政のさらなる改善に努めてまいりたいと存じますので、引き続き、御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和5年度第1回水戸市スポーツ推進審議会を終了いたします。

本日は誠にありがとうございました。